



平拓氏

昭和46年に苫小牧にて就職。以来50年以上も苫小牧に住んでいます。私が就職した頃の苫小牧市の人口は10万人未満で、道路の舗装率も低く雨が降れば道路のあちらこちらに水溜まりができ、ガタガタ道路で泥はね水

民生委員活動の中から 平拓

50人目

平拓(たいらひろく)氏市民後見人受任



市民貢献人

会報

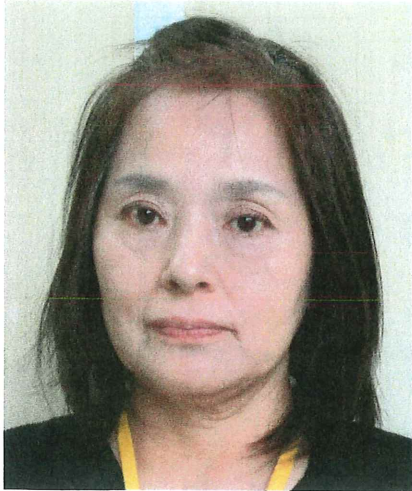
苫小牧市後見支援員等連絡会  
発行人：三河敏規  
☎38-7291  
FAX38-7292

の付いた車をよく洗車したことを思い出します。社会基盤整備が進み、社会環境と共に年齢構成が高くなり、私自身が高齢化率を押し上げている年齢になりました。

民生委員として活動している私の町内も同様に高齢化が進み、ひとり暮らしの生活者も徐々に増加し、明確な後継人が居ない方もおられます。

市民後見人制度は、高

齢化が進んでいく社会の中で必要不可欠な制度であることを認識しつつもその内容をあまり分からず、ひとり暮らしで必要と思われる高齢者に対しての説明は乏しく、市民後見人制度の養成研修を受講することになりました。後見支援員の活動を経て、補助人を受任することになり、多少とも不安ではありますが、助言を受けながら、自分の認知度を深め、被補助人の意思を尊重し、日々の生活を見守り、補助人としての務めを果たしていきたいと考えています。



高津さゆり氏

51人目

## 高津さゆり氏市民後見人受任

### 市民後見人として

### 美枝子さんの保佐人として

#### 高津さゆり

私が市民後見人養成講座を受講してみようと思いましたが、高齢で施設に入所中である叔母の資産管理担当になったのがきっかけでした。

広報で受講生募集の記事を見かけたときも「叔母さんの事に少し役に立つかな」という簡単な気持ちで受講した次第です。

市民後見人養成講座に参加しまして、私には後見人活動はとても無理く

と思いつながらの受講でした。ですが、講習はテキストもそうですが、色々な方の現場の実例を聞いたのも大変参考になりました。

両親や義母も高齢ですので、福祉の知識が乏しかった私には、とても参考になる充実した内容でした。

この度、保佐人となりました。美枝子さんとは、令和5年3月からお付き合いです。後見支援員としまして、1年8ヶ月の間、月2回ほど訪問してきました。

とても気さくで明朗な方で、今ではすっかり仲良し関係です。

彼女には認知がありませんので、毎回同じ話を何度も繰り返し話してくれているのですが、特に昔話が大好きで、子供の頃の話を、経営者の頃の話、子

育て中の話、数年前まで働いていた職場の話など、今ではすっかり暗記してしまつた話ばかりです。

特に三人の子育てをしながら経営していたお店の話は、日に何度も登場してきます。

美枝子さんが一番頑張って輝いていただろう姿と、私の知る昔の苦小牧の街並みを色々想像しながら聞くのが、懐かしくもあり、ほっこりした温かい気持ちになり、そして、いつも何んだか、とても元気を貰えるのです。

この度、保佐人として独り立ちしましたが、今までと変わることなく仲良くお手伝いしていただけると思っております。

微力ではありますが、精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。